

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 宇陀市立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院事業(収益的収入及び支出)					
所管課	701	経営企画課	(宇陀市立病院)		宇陀市宇陀市立病院事業特別会計予算			
事業の目的	住み慣れた地域において、安心して必要な医療のサービスが受けられる提供体制の充実が求められており、医師不足など地域医療を取り巻く環境は厳しい状況にあるが、地域の医療需要に対応し、安定的な収益を確保するために、常勤医師の確保を最重要課題として位置づけ、また、前年度に引き続いて、医業経営コンサルタントを活用し、中長期的な視野に立った経営改善及び医師人事考課に続き、医療職の人事考課制度を開始する。経営改善計画の目標達成を目指す。				区分	No.	区分名	
					款			
					項			
					目			
細目								
根拠条例等	宇陀市病院事業の設置等に関する条例							
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実							
H28年度事業の概要	・病床数 176床 ・年間患者数 ・入院 52,560人(1日平均 144人) ・外来 104,920人(1日平均 430人) ・収益的収入 3,631,369千円(対前年度 3%増) (前年度予算額 3,523,000千円) ・収益的支出 3,705,336千円(対前年度 2%増) (前年度予算額 3,616,000千円)				財源の内訳 (単位:千円)			
	・平成26年度決算状況(決算統計) ・年間入院患者数 43,411人(1日平均 119人) ・年間外来患者数 91,470人(1日平均 373人) ・収益的収入 3,097,860千円 ・収益的支出 3,777,606千円 差引 △ 679,746千円 ・平成27年度決算見込み ・入院収益は、前年より8%増の見込み ・外来収益は、前年より5%増の見込み				分担金 使用料 国費 県費 1,000 市債 その他 483,631 一般財源 3,146,738 H28予算額 3,631,369 H27当初予算額 3,523,000 H27現計予算額 3,523,000 増減額 108,369			
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		3,777,606	3,458,437					
従事職員数【人工】		$\frac{\text{従事職員数} \times \text{単人単日単価}}{\text{総事業費}}$		収益的収入 県補助金 1,000千円 ・一般会計補助金 87,290千円 ・一般会計負担金 265,478千円 ・資本費繰入益 130,863千円				
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)		3,777,606	3,458,437					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他( )								
活動指標名		病床利用率						
活動指標の算式		年延入院患者数/年延病床数						
活動指標の実績(見込)		68	単位	%	75	単位	%	備考
単位当たりコスト (円)		55,881,746		46,359,745				

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 宇陀市立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院事業(資本的収入及び支出)			
所管課	701	経営企画課	(宇陀市立病院)		宇陀市宇陀市立病院事業特別会計予算	
事業の目的	奈良県東部地域の中核病院としての役割を果たすべく、高度医療機器の導入・既存機器等の更新を行う。				区分 No.	区分名
					款	
					項	
					目	
細目						
根拠条例等	宇陀市病院事業の設置等に関する条例					
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実					
H28年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本的収入 10,100千円(対前年度 皆増) (前年度予算額 0千円)</li> <li>・資本的支出 339,540千円(対前年度 34%増) (前年度予算額 254,000千円)</li> <li>・事業内容(支出)</li> <li>・建設改良費 92,000千円</li> <li>・企業債償還金 239,500千円</li> <li>・長期貸付金 8,040千円</li> <li>・収入の不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんする。</li> </ul>				財源の内訳 (単位:千円)	
	宇陀市立病院は、昭和29年の開院以来、地域の中核的な医療機関としてその役割を担い、また将来においても地域医療の確保及び医療水準の向上と、課せられた役割と使命には大きなものがある。 高度医療機器等の整備を推進することにより、住民の幅広い医療ニーズに対応できる医療機関としての機能と役割を担うことが可能となる。				分担金	
使用料						
国費						
県費						
市債						
その他					10,100	
一般財源					329,440	
H28予算額	339,540					
H27当初予算額	254,000					
H27現計予算額	254,000					
増減額	85,540					
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	313,600	254,000				
従事職員数【人工】						
人件費(人工×8,000千円)						
総事業費:人件費含む(千円)	313,600	254,000				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他( )						
活動指標名			備考			
活動指標の算式						
活動指標の実績(見込)	単位	単位				
単位当たりコスト (円)						